



KONICA MINOLTA

コニカミノルタホールディングス株式会社 2012年度第2四半期決算説明会

2012年10月31日

代表執行役社長

松崎 正年



- **本資料の記載情報**
本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。
- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**
本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。



■ 2012年度上期業績について

長期化する円高や不透明なマクロ環境の中、産業用材料・機器事業等の収益拡大が牽引し、増収増益の全社業績。上期を順調に折り返す。

- ▶ 情報機器事業は、円高影響を強く受け、前年同期比では減収減益。オフィス用カラーMFP新製品の本格販売により、1Qから収益は大きく回復。
- ▶ 産業用材料・機器事業は、TACフィルムやデジタル一眼レフ用交換レンズ、計測機器など、主力製品の販売好調により増収増益。
- ▶ ヘルスケア事業は、デジタル機器の販売拡大で営業黒字に転換。

2012年度上期決算： 全社ハイライト



[億円]

	12年度	11年度	YoY	12年度		
	上期	上期		2Q	1Q	QoQ
売上高	3,838	3,783	1%	1,944	1,894	3%
営業利益	203	156	30%	139	63	120%
(営業利益率)	5.3%	4.1%	-	7.2%	3.3%	-
のれん代償却額	47	44	7%	24	23	5%
のれん代償却前営業利益	250	200	25%	164	86	89%
(のれん代償却前営業利益率)	6.5%	5.3%	-	8.4%	4.6%	-
四半期純利益	76	38	103%	75	2	大幅増益
(四半期純利益率)	2.0%	1.0%	-	3.8%	0.1%	-
為替レート [円] US\$	79.41	79.80	△ 0.39	78.62	80.20	△ 1.58
Euro	100.64	113.78	△ 13.14	98.36	102.91	△ 4.55

2012年度上期決算：セグメント別



[億円]

売上高	12年度 上期	11年度 上期	YoY	12年度		
				2Q	1Q	QoQ
情報機器	2,650	2,690	-1%	1,346	1,303	3%
産業用材料・機器	794	686	16%	388	406	-4%
ヘルスケア	339	347	-2%	181	158	14%
ホールディングス他	56	61	-	30	26	-
グループ計	3,838	3,783	1%	1,944	1,894	3%

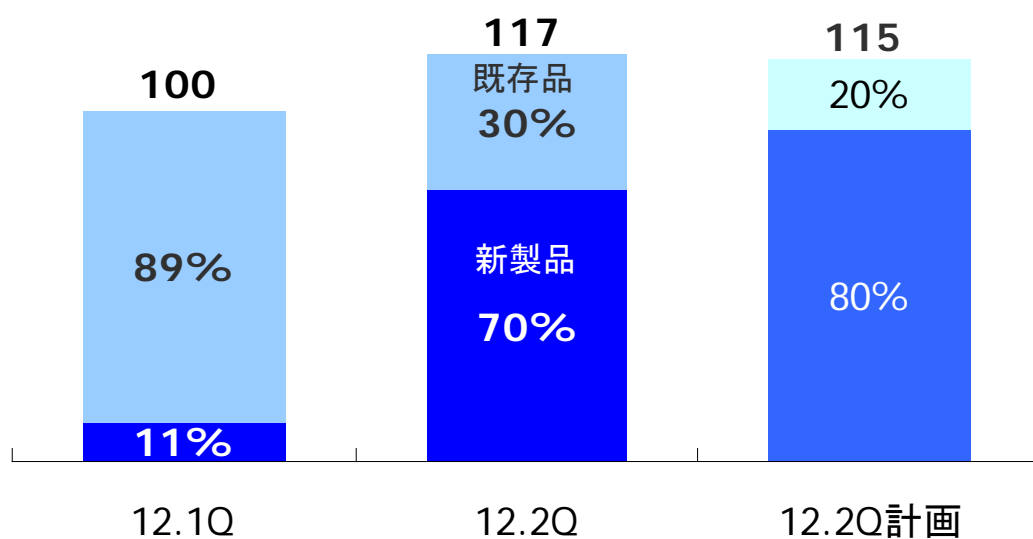
※上期 対前年為替影響:グループ計/△122億円 情報機器事業/△116億円

営業利益 (右側:営業利益率)	12年度 上期		YoY	12年度		
	金額	率		2Q	1Q	QoQ
情報機器	130	4.9%	-15%	100	30	229%
産業用材料・機器	156	19.7%	104%	74	82	-9%
ヘルスケア	12	3.4%	黒転	13	△2	黒転
ホールディングス他	△95	-	-	△48	△47	-
グループ計	203	5.3%	30%	139	63	120%

※上期 対前年為替影響:グループ計/△67億円 情報機器事業/△64億円

A3カラーMFPが計画通り進捗し、堅調を維持。
特に、高速セグメントのカラー機が新製品中心に好調。
全地域で成長持続。米国ではITサービス強化が奏功。

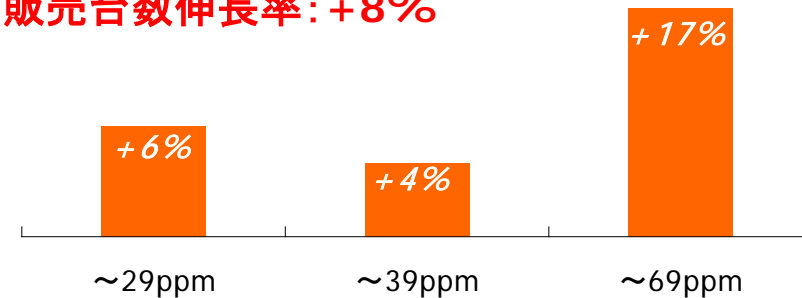
A3カラーMFP販売台数推移 (QoQ)



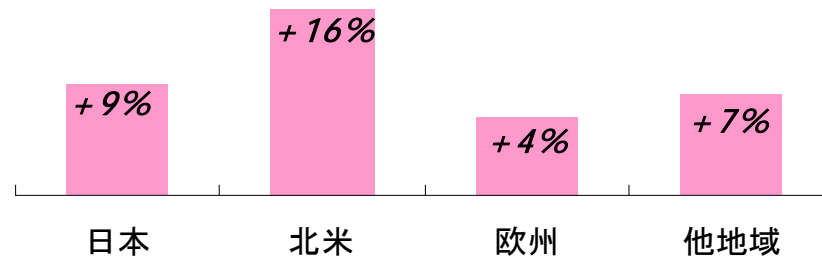
※12.1Qを100とした場合の指数

A3カラーMFP出力速度別販売台数増減 (YoY)

販売台数伸長率: +8%



A3カラーMFP地域別販売台数増減 (YoY)



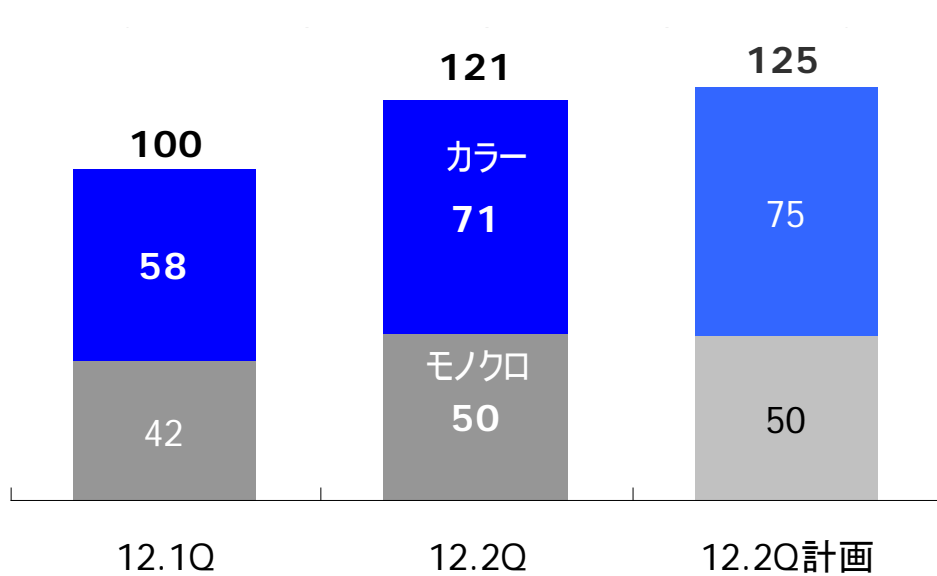
情報機器事業：プロダクションプリント分野はモノクロ機が堅調



KONICA MINOLTA

マクロ環境及び競合激化の中、モノクロ機は新製品投入により堅調。カラー機はやや弱含みの進捗。日本は買収効果あり急伸。景況懸念の中、欧州も健闘。

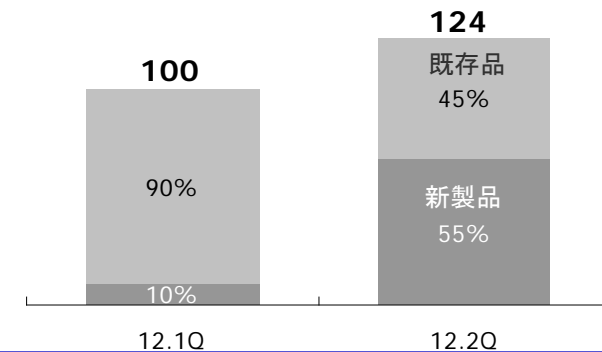
PP機販売台数推移 (QoQ)



※12.1Qを100とした場合の指数

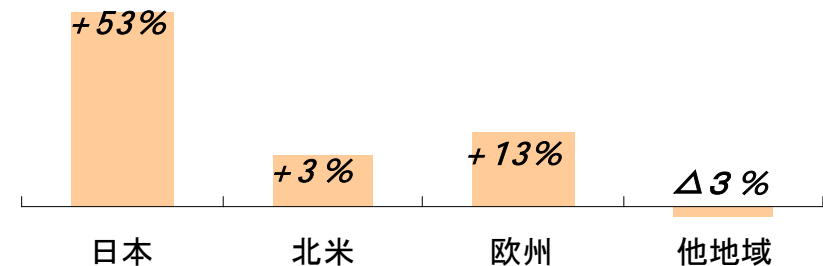
Giving Shape to Ideas

PPモノクロ機 新製品比率推移



PP機地域別販売台数増減 (YoY)

販売台数伸長率: +8% (カラー +5%、モノクロ+12%)

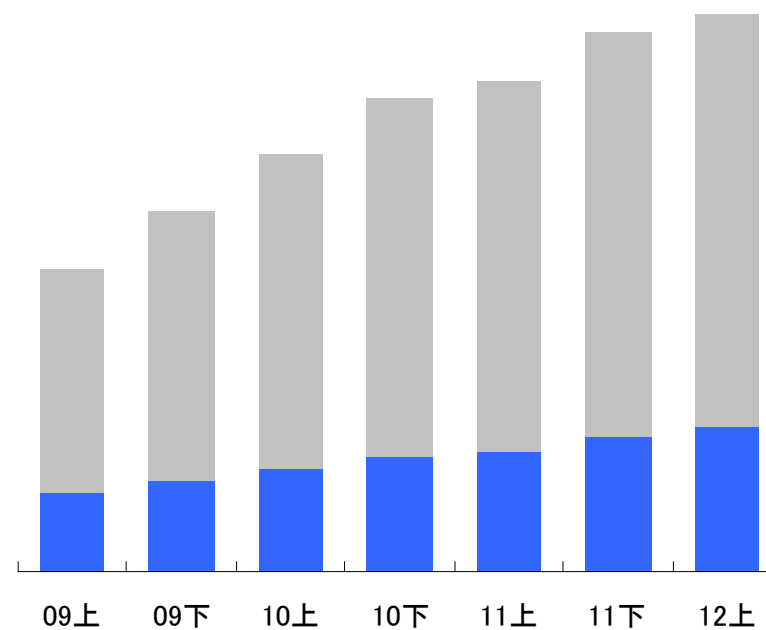
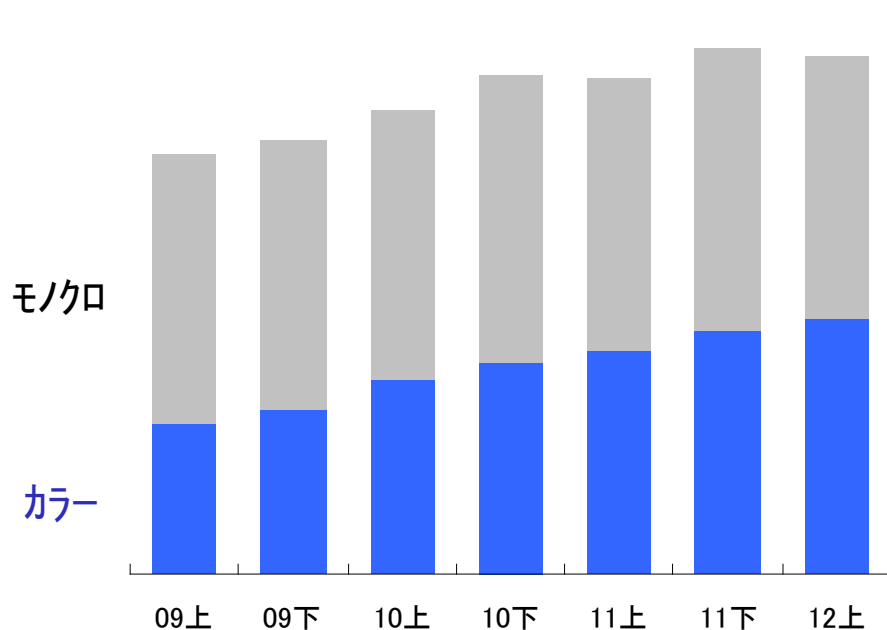


オフィスカラー機及びPP機の市場設置台数増を基盤に プリントボリュームは安定的に成長持続。

オフィス プrintボリューム推移

PP プrintボリューム推移

※出所： 当社国内外主要5販売会社での直販データ



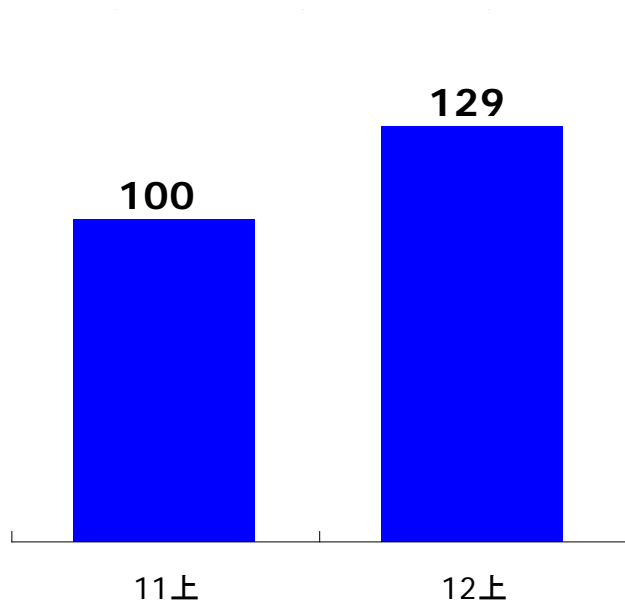
- ▶ GMA売上高： 63億円 (前年同期比 +25%)
- ▶ OPS売上高： 116億円 (同 +35%)
- ▶ ITサービス・ソリューション売上高： 182億円 (同 +73%)
- ▶ M&A： 欧州で3件、米国で3件、日本で1件実施
 - ・トルコ： 販売代理店を買収し、販売会社化(4月)
 - ・フランス： ITサービスとMFP販売のハイブリッドディーラーを買収(5月)
 - ・日本： フェデックスキンコース・ジャパンを買収(5月)
 - ・米国： ITサービスプロバイダーを2社買収(8月) など

産業用材料・機器事業：主力製品が堅調に推移

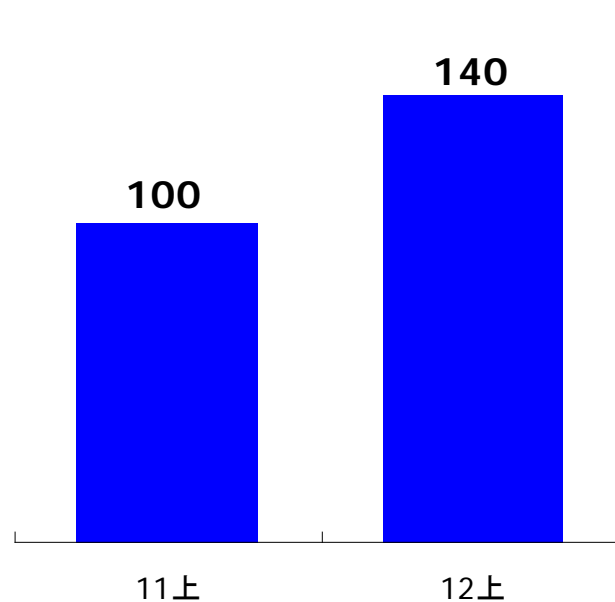


薄膜タイプのTAC製品、光学技術を活かしたD-SLR用交換レンズや計測機器など、当社が強みとする主力製品の販売が上期を通して堅調に推移。収益拡大に貢献。

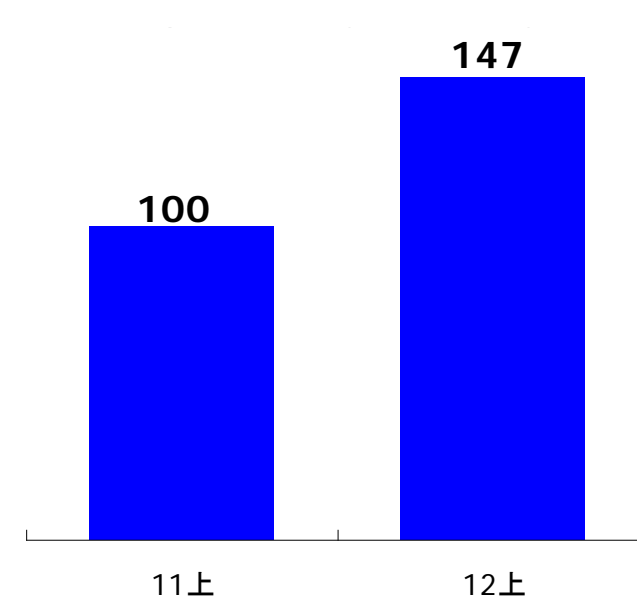
TACフィルム 販売数量増減



D-SLR用交換レンズ 販売数量増減



色計測機 販売数量増減



※11上を100とした場合の指数

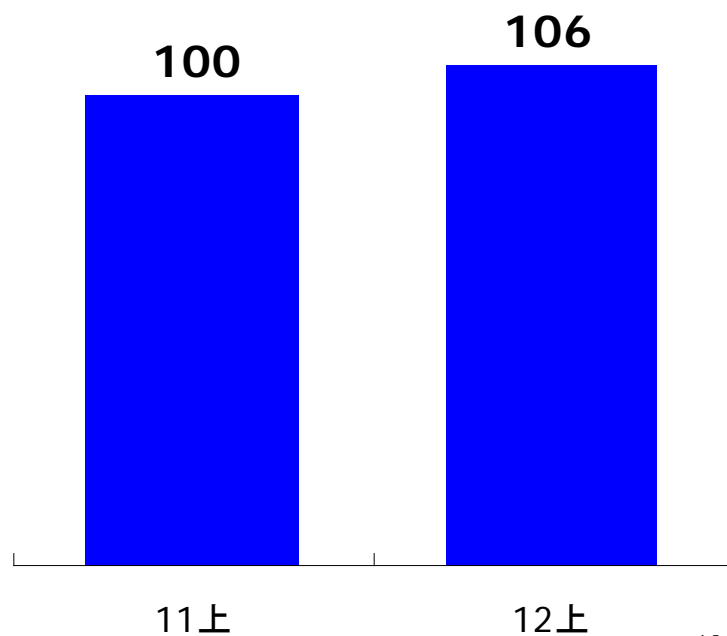
ヘルスケア事業：“デジタル+サービス”へのシフトで黒字転換



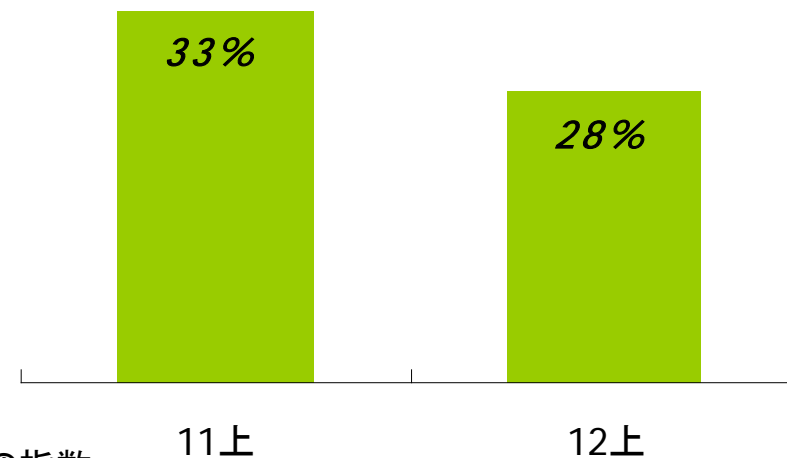
KONICA MINOLTA

フィルム販売減は続くも、デジタル入力機器・サービス事業の販売拡大と収益改善の取組みにより、営業黒字に転換。

デジタル入力機器（CR・DR） 販売数量増減



売上高販売管理費率



※11上を100とした場合の指数



■ 2012年通期見通しについて



先行き不透明な経営環境を認識しつつ、期初予想
(5月10日発表) [売上高:8,000億円 営業利益:480億円
当期純利益:220億円] を据え置く。

- ▶ 但し、全社業績の枠組みは変えない中で、各事業の上期進捗度を反映し、セグメント間で以下の修正を行う。
- ▶ 情報機器事業は、営業利益予想を減額修正。先行きの不透明感に対して下振れリスクを織り込む。
- ▶ 産業用材料・機器事業は、売上高及び営業利益予想を増額修正。ヘルスケア事業は、営業利益予想を増額修正。
- ▶ 為替前提は、[USドル=80円、ユーロ=100円]を据え置く。

2012年度業績見通し: 全社ハイライト

※前回予想から変更なし

[億円]



	今回予想	11年度実績	YoY
売上高	8,000	7,679	4%
営業利益	480	403	19%
(営業利益率)	6.0%	5.3%	
のれん代償却額	91	88	3%
のれん代償却前営業利益	571	492	16%
(のれん代償却前営業利益率)	7.1%	6.4%	
経常利益	440	348	27%
当期純利益	220	204	8%
(当期純利益率)	2.8%	2.7%	
設備投資	500	340	
減価償却費	550	492	
研究開発費	730	725	
FCF(営業CF-投資CF)	△ 100	296	
<参考> 営業CF-設備投資CF	300	374	
為替レート [円] US\$	80.00	79.07	
Euro	100.00	108.96	

為替感応度 (1円変動時の年間影響額)	売上高	営業利益
US\$	29	4
Euro	14	8

2012年度業績見通し: セグメント別



[億円]

売上高	今回予想	前回予想	11年度実績	YoY
情報機器	5,600	5,700	5,476	2%
産業用材料・機器	1,500	1,400	1,351	11%
ヘルスケア	750	750	730	3%
ホールディングス他	150	150	121	-
グループ計	8,000	8,000	7,679	4%

営業利益 (右側: 営業利益率)

情報機器	390 7.0%	460 8.1%	395 7.2%	-1%
産業用材料・機器	230 15.3%	170 12.1%	151 11.2%	52%
ヘルスケア	25 3.3%	10 1.3%	1 0.1%	-
ホールディングス他	△ 165 -	△ 160 -	△ 144 -	-
グループ計	480 6.0%	480 6.0%	403 5.3%	19%

各事業におけるアクション

- ▶ 情報機器事業では、①好調なオフィスカラー機・PPモノクロ機の拡販とPPカラー機のコ入れ、②製造コスト低減活動の加速。
- ▶ 産業用材料・機器事業では、一部製品での需要減は織り込むが、主力製品の販売強化で収益確保。
- ▶ ヘルスケア事業では、“デジタル+サービス”の推進。

リスクファクター

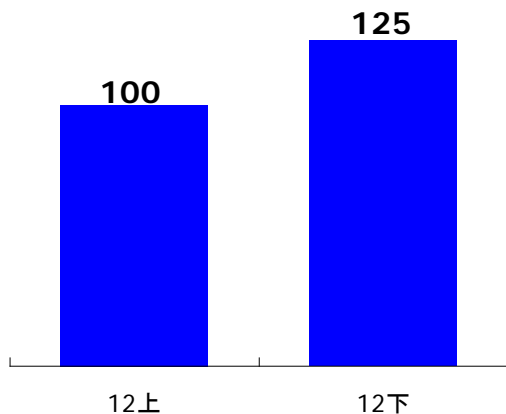
- ▶ 欧州問題の拡大とそれに伴う世界規模での需要減速。
- ▶ 更なる円高の進行。

2012年度業績見通し 主要製品販売計画(数量ベース)

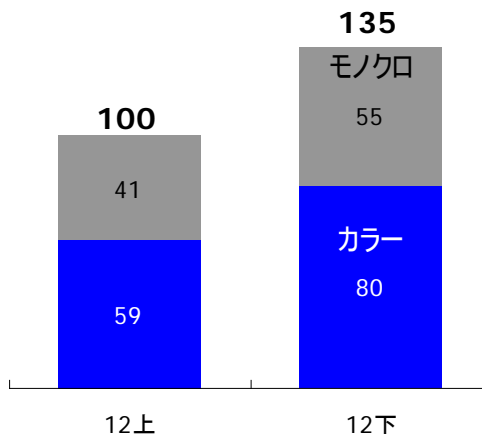


KONICA MINOLTA

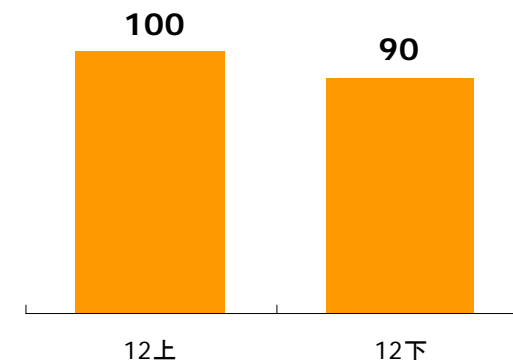
オフィス用A3カラーMFP



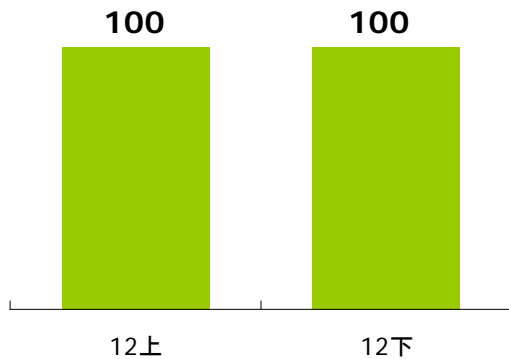
プロダクションプリント機



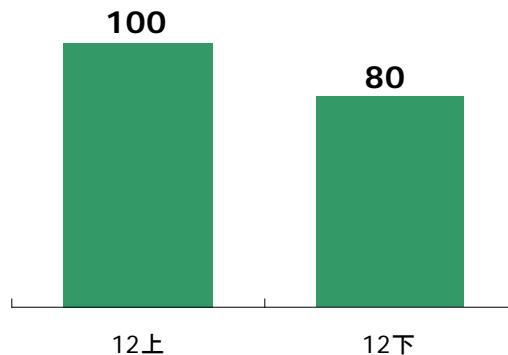
TACフィルム



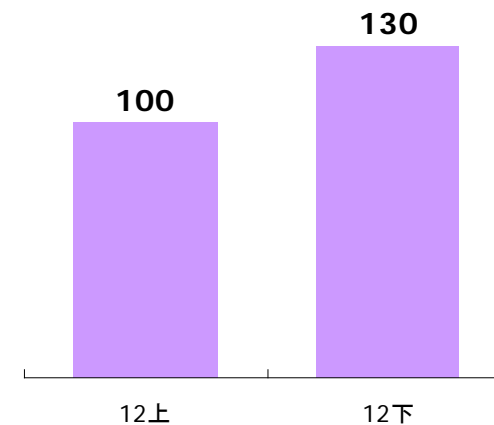
D-SLR用交換レンズ



色計測機



デジタル入力機(CR・DR)



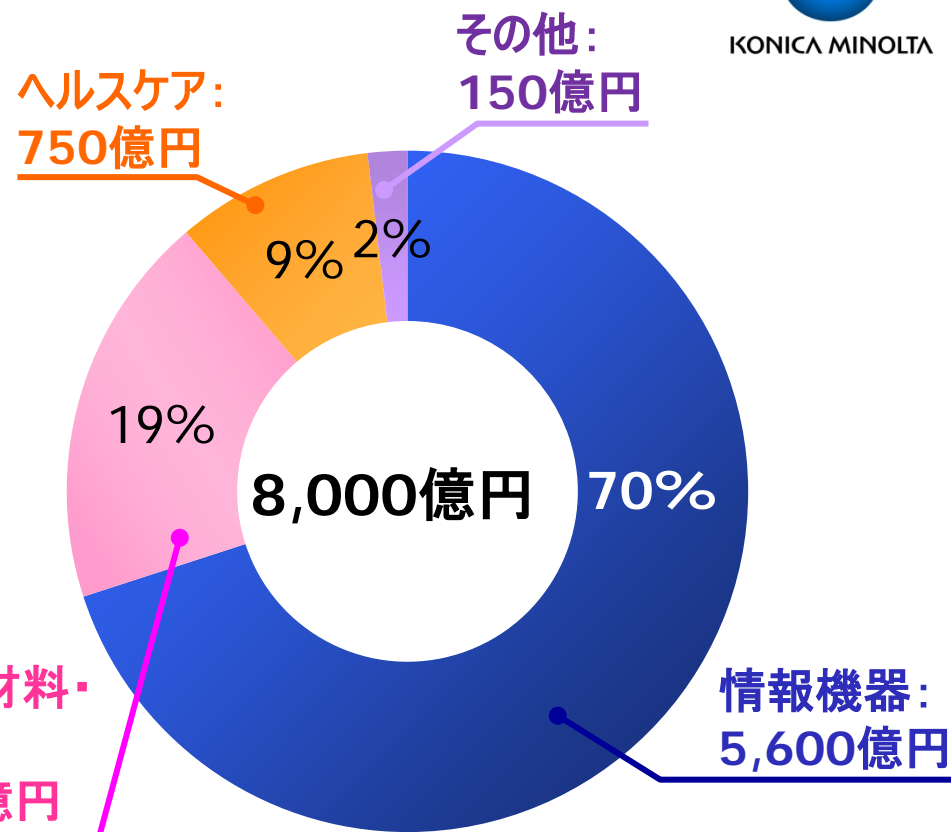
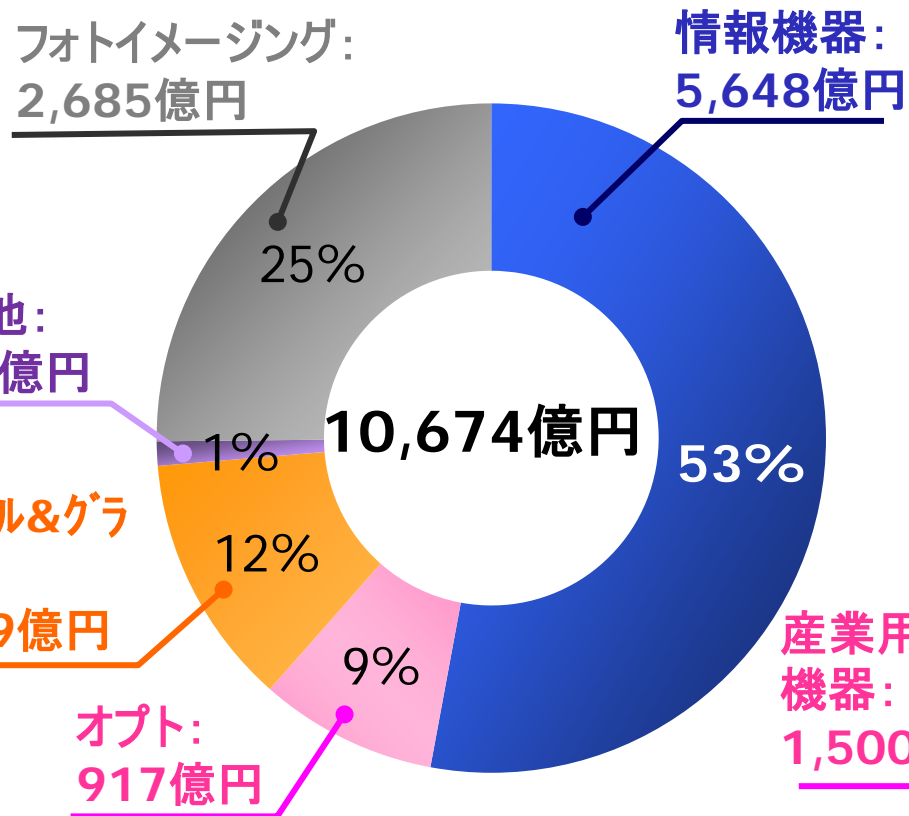


KONICA MINOLTA

■ グループ経営体制再編について

- ▶ グループ会社7社を吸収合併し、経営統合来の「分社・持株会社制」に替えて、当社が直接事業を行う「事業会社」の体制に変更する。
- ▶ これに伴い、新社名を「コニカミノルタ株式会社」とする。
- ▶ 2013年4月1日より新しい体制に移行する。
- ▶ 「委員会設置会社」によるコーポレートガバナンス体制は継続する。

グループ経営体制再編の背景



04年度実績 → 12年度計画

「力強い成長」の早期実現による企業価値の向上。

▶ 情報機器事業の経営力強化

- ・ベストメンバーで経営力を高め、業容を転換しつつ成長と高収益化を実現

▶ 戦略的・機動的な経営資源の活用

- ・有望分野での成長加速、環境変化に伴う収益性改善に迅速に対応できる体制

▶ 効率的な事業支援体制

- ・社内カンパニーは基本機能を残し事業に集中、コーポレート機能は本社に集約

グループ経営体制再編のスキーム



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社

グループ経営とともに情報機器事業の経営に関与

コニカミノルタ
ビジネステクノロジーズ(株)

コニカミノルタ
ホールディングス(株)

コーポレート機能強化
機能ごとに各部門に再配置

コニカミノルタ
テクノロジーセンター(株)

プリンティング分野強化

簡易吸収合併

コニカミノルタ
ビジネスエキスパート(株)

コニカミノルタIJ(株)

社内カンパニー

市場環境、顧客、販売チャネルなど事業特性に合わせた事業運営

コニカミノルタ
アドバンストレイヤー(株)

コニカミノルタ
オプティクス(株)

コニカミノルタ
エムジー(株)



■ 補足情報

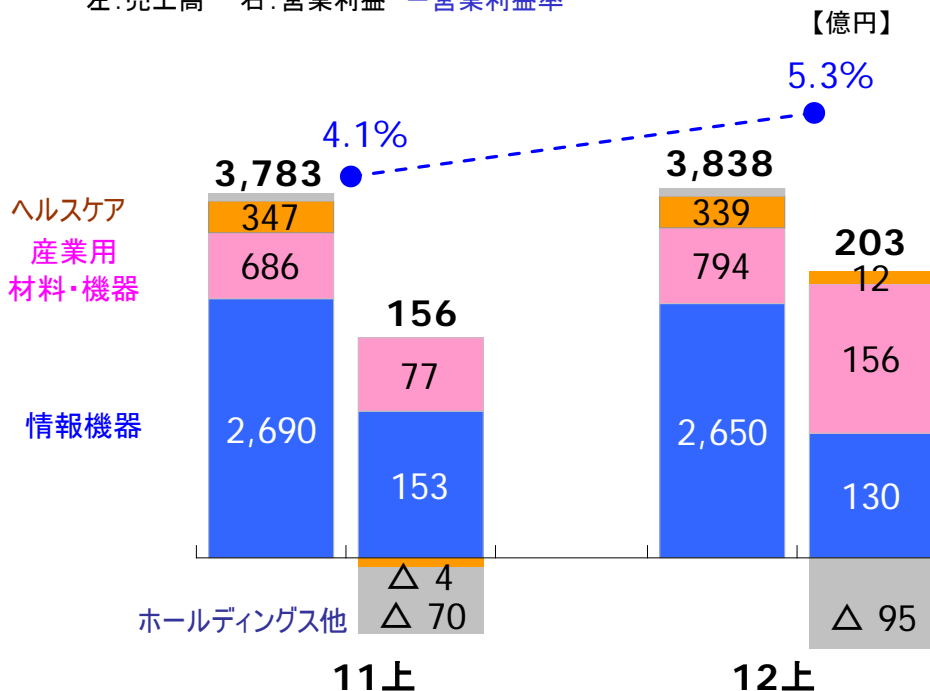
2012年度上期 全社業績(対前年比)

産業用材料・機器事業が牽引しグループ全体で増収増益。
ヘルスケア事業も収益性が改善。

上期

- 売上高: 前年同期比 +1%(為替影響除く +5%)
- 営業利益: 前年同期比 +30%(為替影響除く+73%)

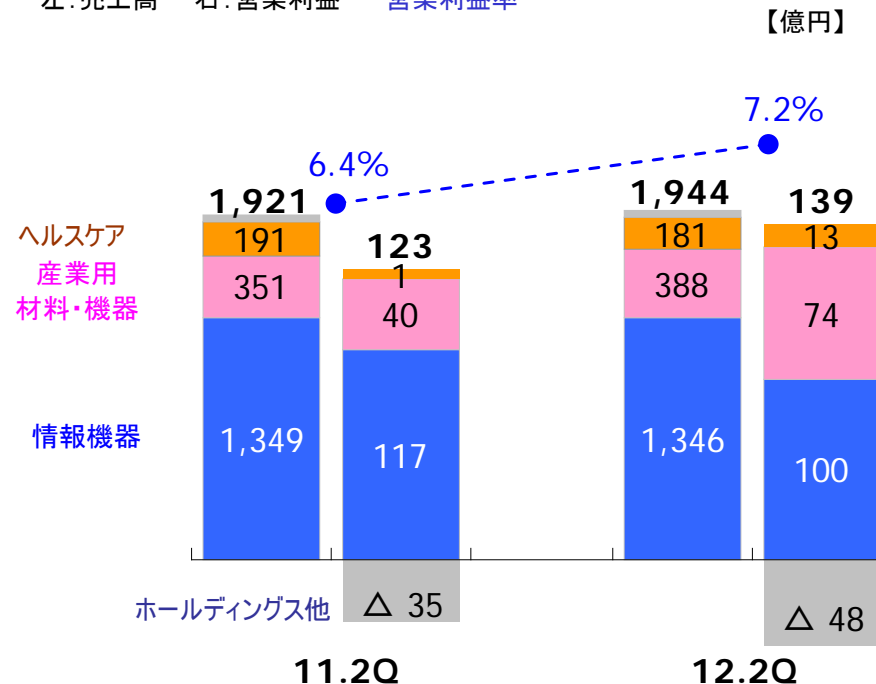
左:売上高 右:営業利益 -営業利益率



2Q

- 売上高: 前年同期比 +1%(為替影響除く +3%)
- 営業利益: 前年同期比 +13%(為替影響除く+33%)

左:売上高 右:営業利益 -営業利益率



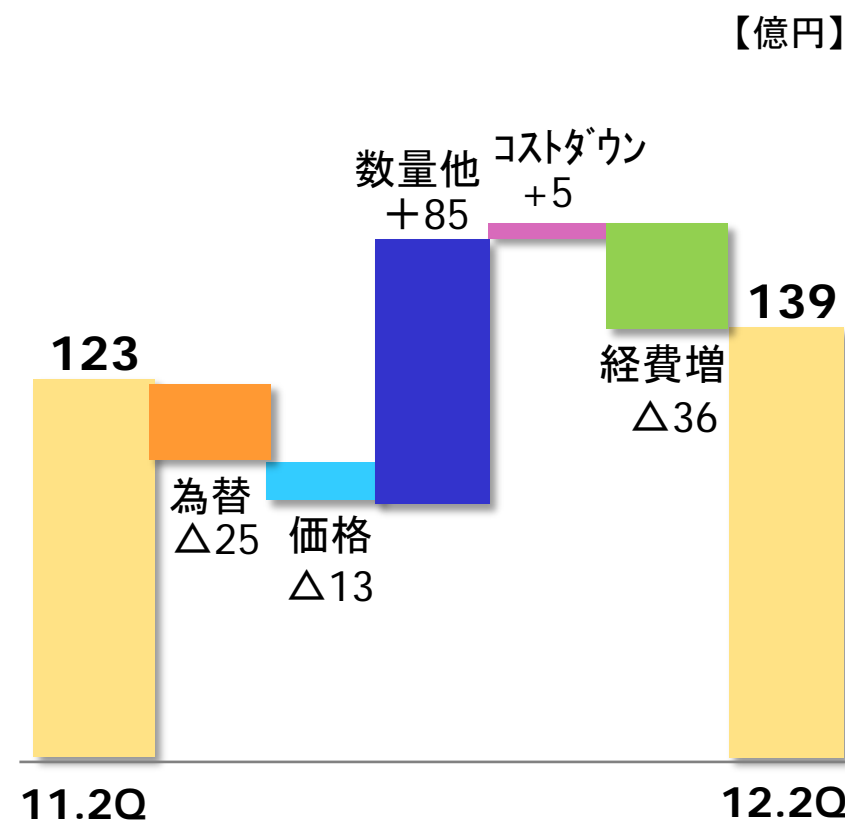
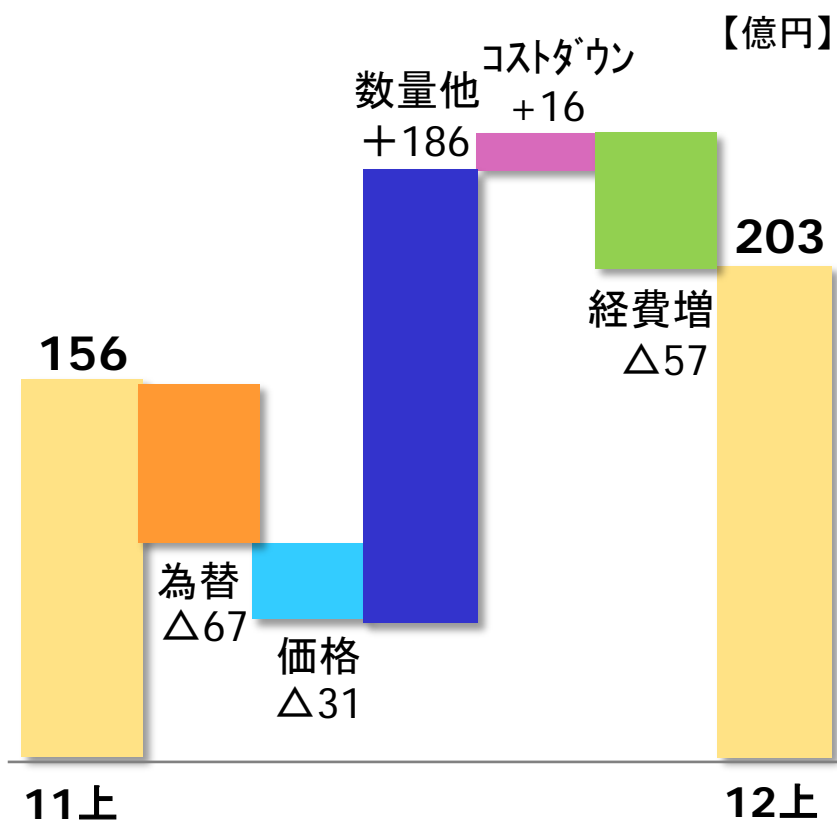
2012年度上期 営業利益増減分析(対前年比)

上期

2Q

【億円】

【億円】



2012年度上期 全社業績



KONICA MINOLTA

[億円]

	12年度 上期	11年度 上期	YoY	12年度 2Q	11年度 2Q	YoY
売上高	3,838	3,783	1%	1,944	1,921	1%
売上総利益	1,800	1,736	4%	937	900	4%
(売上総利益率)	46.9%	45.9%	-	48.2%	46.9%	-
営業利益	203	156	30%	139	123	13%
(営業利益率)	5.3%	4.1%	-	7.2%	6.4%	-
のれん代償却額	47	44	7%	24	22	10%
のれん代償却前営業利益	250	200	25%	164	145	13%
(のれん代償却前営業利益率)	6.5%	5.3%	-	8.4%	7.6%	-
経常利益	183	116	57%	135	91	49%
当期純利益	76	38	103%	75	39	93%
(四半期純利益率)	2.0%	1.0%	-	3.8%	2.0%	-
EPS(円)	14.35	7.08	103%	14.06	7.28	93%
設備投資額	171	138		94	89	
減価償却費	217	236		110	119	
研究開発費	346	368		170	178	
FCF(営業CF+投資CF)	△ 95	160		68	154	
<参考>営業CF+設備投資CF	△ 1	229		96	180	
為替レート [円] US\$	79.41	79.80	△ 0.39	78.62	77.86	0.76
Euro	100.64	113.78	△ 13.14	98.36	110.15	△ 11.79

2012年度上期 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	12年度 上期			11年度 上期			12年度 2Q			11年度 2Q		
			YoY			YoY			YoY			YoY
情報機器	2,650		-1%	2,690			1,346		0%	1,349		
産業用材料・機器	794		16%	686			388		11%	351		
ヘルスケア	339		-2%	347			181		-6%	191		
ホールディングス他	56		-	61			30		-	30		
グループ計	3,838		1%	3,783			1,944		1%	1,921		

営業利益 (右側: 営業利益率)	12年度 上期			11年度 上期			12年度 2Q			11年度 2Q		
			YoY			YoY			YoY			YoY
情報機器	130	4.9%	-15%	153	5.7%		100	7.4%	-14%	117	8.6%	
産業用材料・機器	156	19.7%	104%	77	11.2%		74	19.2%	85%	40	11.5%	
ヘルスケア	12	3.4%	黒転	△ 4	-1.1%		13	7.3%	黒転	1	0.7%	
ホールディングス他	△ 95	-	-	△ 70	-		△ 48	-	-	△ 35	-	
グループ計	203	5.3%	30%	156	4.1%		139	7.2%	13%	123	6.4%	

情報機器事業 業績概況



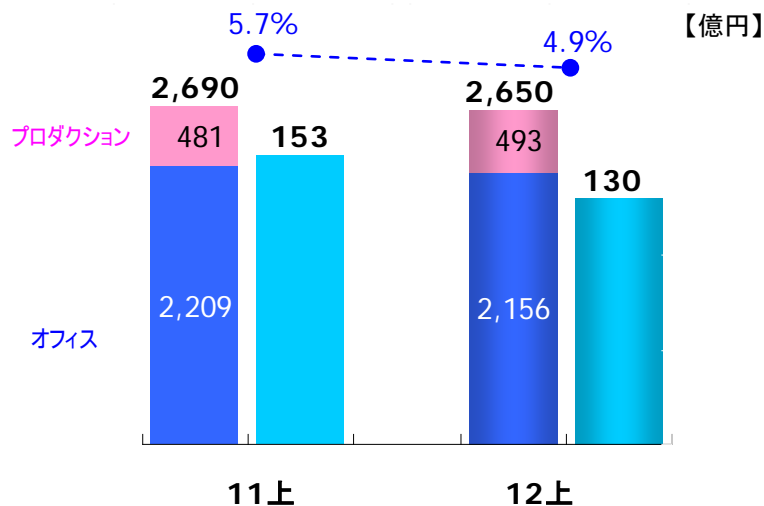
KONICA MINOLTA

- ✓ オフィス分野：A3カラー新製品の販売が好調に推移。
- ✓ PP分野：カラー機は伸び悩むが、モノクロ新製品の好調や買収効果等で増収。

上期

- 売上高： 前年同期比△ 1% (為替影響除く+ 3%)
- 営業利益： 前年同期比△ 15% (為替影響除く+ 27%)

左：売上高 右：営業利益 - 営業利益率



※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

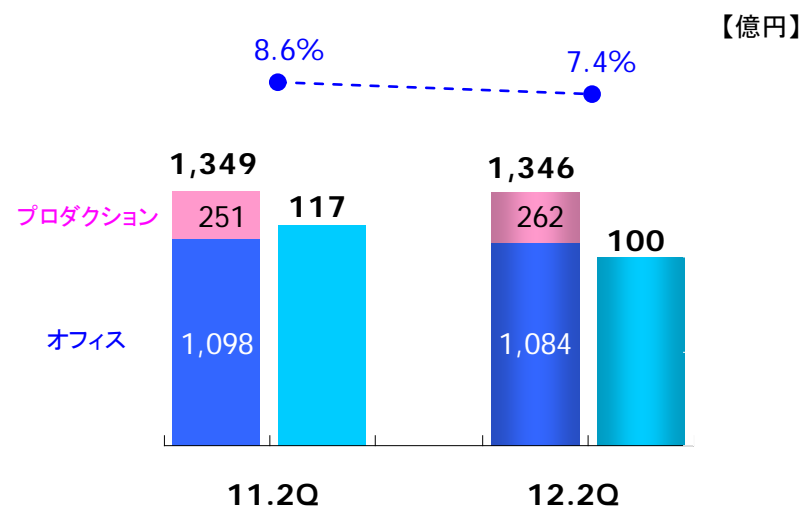
	日本	米国	欧州	中国	全体
オフィス	+3%	+7%	+1%	△14%	+3%
PP	+31%	+3%	+2%	+27%	+2%
合計	+8%	+6%	+2%	△11%	+3%

Giving Shape to Ideas

2Q

- 売上高： 前年同期比 0% (為替影響除く+ 3%)
- 営業利益： 前年同期比△ 14% (為替影響除く+ 7%)

左：売上高 右：営業利益 - 営業利益率



※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

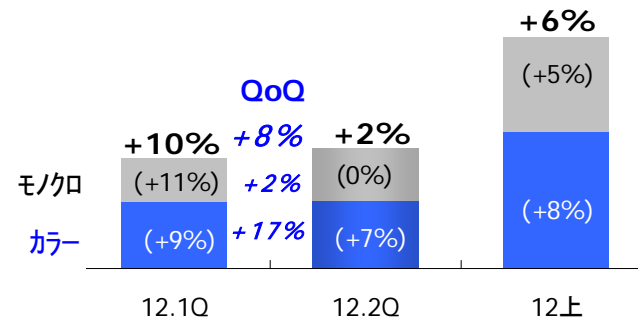
	日本	米国	欧州	中国	全体
オフィス	+5%	+6%	+4%	△19%	+2%
PP	+39%	+2%	0%	+13%	+7%
合計	+11%	+5%	+3%	△15%	+3%

オフィスA3MFP(数量ベース)

- ▶ カラー新製品の販売が日米欧で好調。

※地域別販売台数成長率(前年同期比)

	日本	米国	欧州	中国
上期	+14%	+10%	△3%	+2%
2Q	+25%	+3%	△6%	△1%

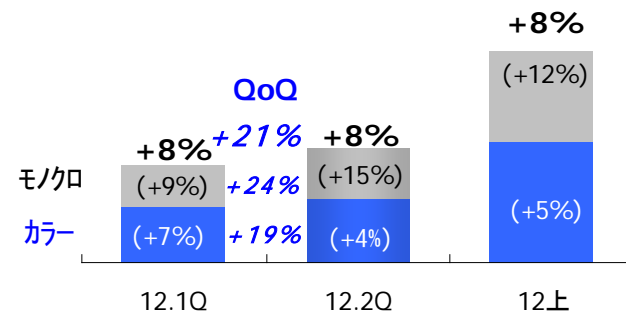


プロダクションプリント機(数量ベース)

- ▶ モノクロ機が新製品中心に好調。

※地域別販売台数成長率(前年同期比)

	日本	米国	欧州	中国
上期	+53%	+3%	+13%	+14%
2Q	+78%	+4%	+15%	+2%

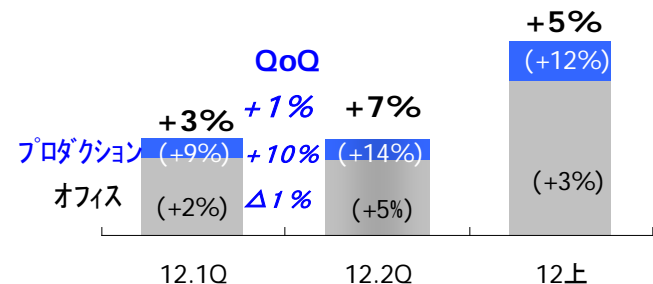


ノンハード売上(現地通貨ベース)

- ▶ PP分野が成長を牽引。

※地域別ノンハード売上成長率(前年同期比、現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	中国
上期	+11%	+2%	+8%	+2%
2Q	+19%	+3%	+12%	△3%



産業用材料・機器事業 業績概況



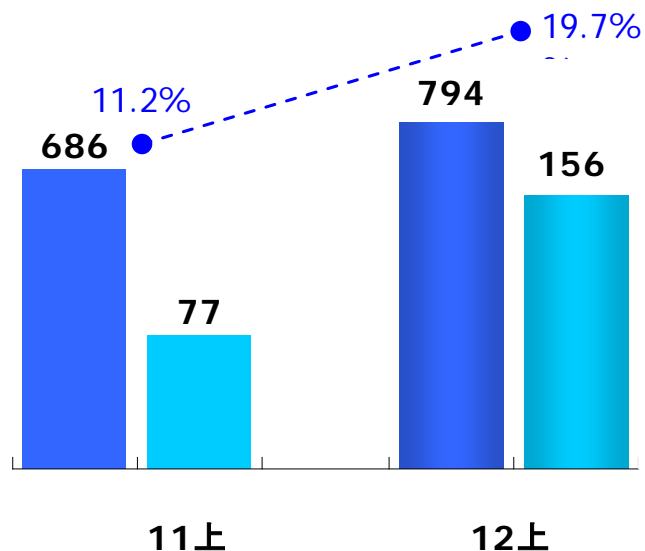
KONICA MINOLTA

- ✓ TACフィルム、D-SLR用交換レンズの販売好調により増収、増益。
- ✓ ガラス用HDD基板は2Qより急減速、光ピックアップレンズも低調。

上期

- 売上高: 前年同期比 +16%
- 営業利益: 前年同期比+104%

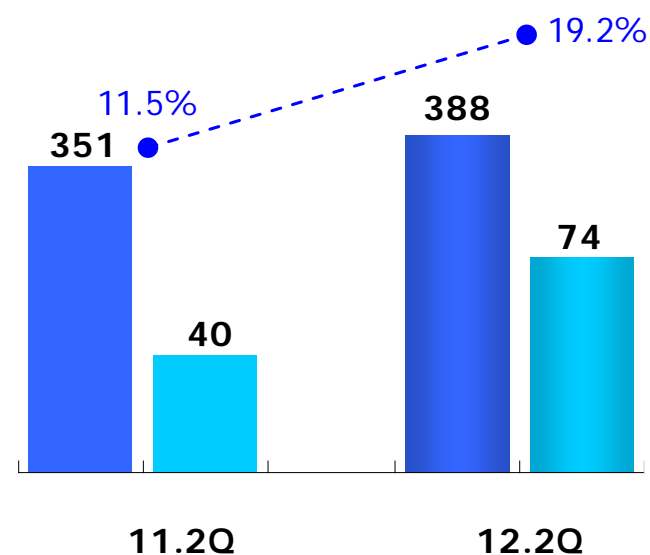
左:売上高 右:営業利益 —営業利益率 【億円】



2Q

- 売上高: 前年同期比+11%
- 営業利益: 前年同期比+85%

左:売上高 右:営業利益 —営業利益率 【億円】



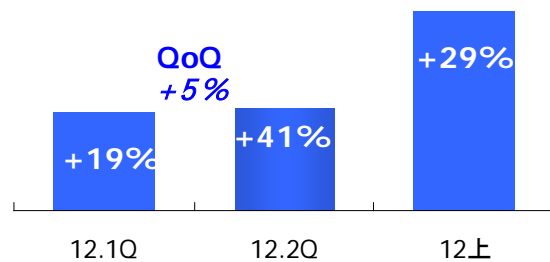
産業用材料・機器事業 販売状況(数量ベース)



KONICA MINOLTA

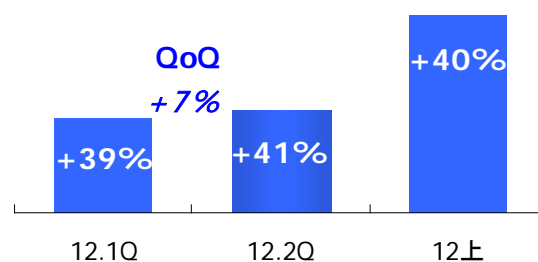
TACフィルム

- ▶ VA-TAC、薄膜品とも当期間を通して好調な販売。



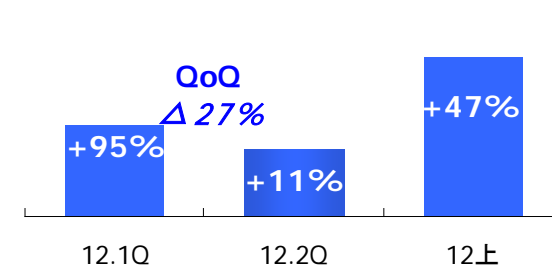
D-SLR用交換レンズ

- ▶ 主要顧客向けに好調。



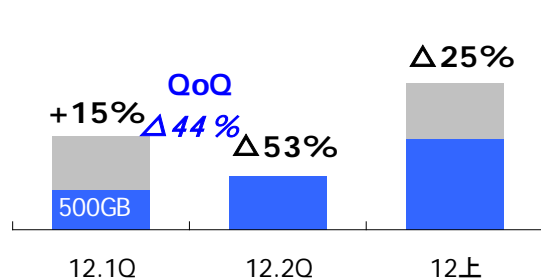
色計測機

- ▶ 大口顧客獲得により増。



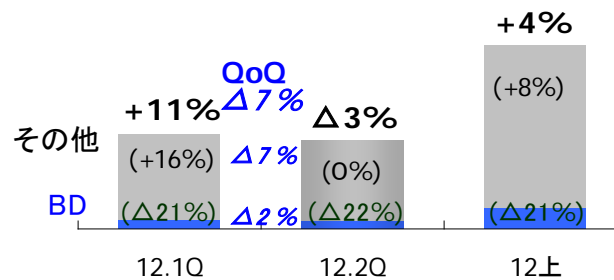
HDD用ガラス基板

- ▶ 調整などにより2Qより急減。



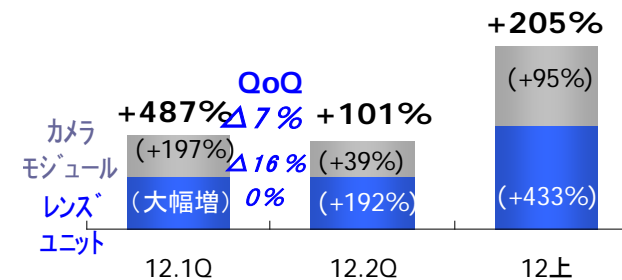
光ピックアップレンズ

- ▶ BDが伸び悩む。



カメラ付携帯電話用光学ユニット

- ▶ 昨年来のスマホ向けが伸びる。



ヘルスケア事業 業績概況・販売状況(数量ベース)



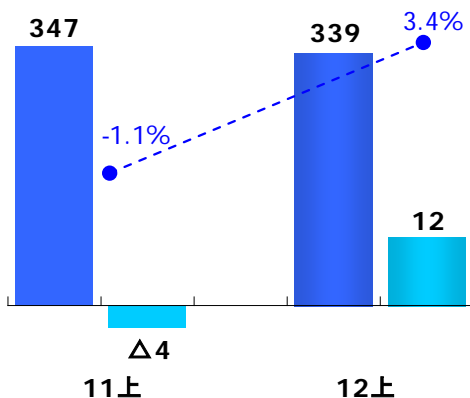
KONICA MINOLTA

✓ デジタル入力機器の販売増やサービス事業により収益性が改善。

上期

- 売上高: $\Delta 2\%$
- 営業利益: 15億円の改善

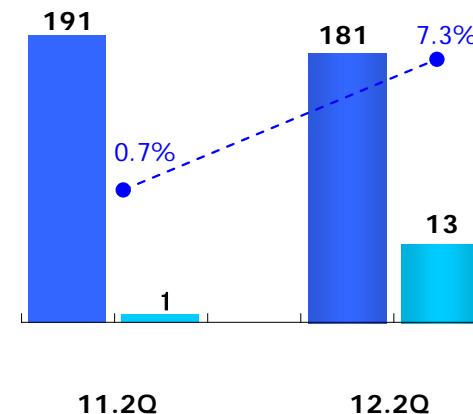
左:売上高 右:営業利益 -営業利益率 【億円】



2Q

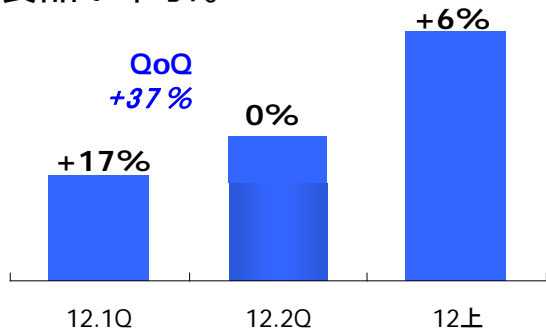
- 売上高: $\Delta 6\%$
- 営業利益: 12億円の改善

左:売上高 右:営業利益 -営業利益率 【億円】



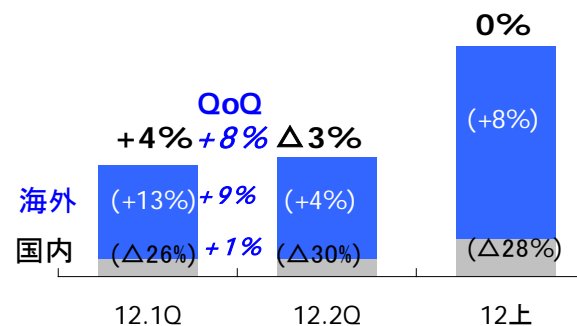
デジタル入力機器 (CR・DR)

▶ DR新製品が牽引。



DRYフィルム

▶ 国内の減少を海外向けでカバー。



営業利益増減分析

上期 前年同期比較 (12年度1H vs. 11年度1H)

	情報機器	産業用 材料・機器	その他	合計 [億円]
[要因]				
為替影響	△ 64	△ 1	△ 2	△ 67
価格変動	4	△ 33	△ 3	△ 31
数量増減他	105	82	△ 1	186
コストダウン	△ 21	34	2	16
経費増減	△ 47	△ 4	△ 6	△ 57
[営業利益]				
増減額 (YoY)	△ 22	79	△ 10	47

四半期 前年同期比較 (12年度2Q vs. 11年度2Q)

	情報機器	産業用 材料・機器	その他	合計
[要因]				
為替影響	△ 25	0	△ 0	△ 25
価格変動	6	△ 18	△ 2	△ 13
数量増減他	42	42	2	85
コストダウン	△ 15	19	1	5
経費増減	△ 25	△ 11	△ 0	△ 36
[営業利益]				
増減額 (YoY)	△ 16	33	△ 1	16

販売管理費・営業外損益・特別損益



KONICA MINOLTA

	12年度 1H	11年度 1H	YoY [億円]
販売管理費			
販売変動費	221	215	7
研究開発費	346	368	△ 22
人件費	614	591	23
その他	416	407	9
販売管理費 計	1,597	1,580	17
	* 為替影響額: △ 40 億円(実質増減 +57 億円)		
営業外収支			
金融収支	△ 4	△ 5	1
為替差損益	△ 10	△ 35	25
その他	△ 6	0	△ 6
営業外収支 計	△ 20	△ 40	20
特別損益			
固定資産売却損益	△ 11	△ 7	△ 3
投資有価証券売却・評価損益	△ 3	△ 24	21
事業構造改善費用	△ 4	0	△ 4
その他	△ 14	△ 1	△ 13
特別損益 計	△ 31	△ 32	0

キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

	12年度 1H	11年度 1H	YoY [億円]
税金等調整前四半期純利益	151	84	67
減価償却費	217	236	△ 19
法人税等の支払額	△ 61	△ 11	△ 49
運転資本増減他	△ 133	72	△ 205
I. 営業活動によるキャッシュフロー	174	381	△ 207
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 270	△ 222	△ 48
I.+ II. FCF	△ 95	160	△ 255
有利子負債の増減	112	△ 36	148
配当金の支払額	△ 40	△ 40	△ 0
その他	△ 8	△ 8	△ 0
III. 財務活動によるキャッシュフロー	64	△ 84	147

貸借対照表



KONICA MINOLTA

資産の部	12年9月	12年3月	増減 [億円]
手元資金	2,288	2,319	△ 31
売上債権	1,663	1,742	△ 79
棚卸資産	1,107	1,051	56
その他	515	547	△ 32
流動資産 計	5,574	5,659	△ 86
有形固定資産	1,717	1,790	△ 73
無形固定資産	872	873	△ 1
投資その他	691	698	△ 7
固定資産 計	3,280	3,361	△ 82
資産 合計	8,853	9,021	△ 167

負債および純資産の部

仕入債務	763	881	△ 118
有利子負債	2,369	2,279	90
その他負債	1,444	1,510	△ 66
負債 合計	4,576	4,671	△ 94
自己資本 (株主資本+その他包括利益累計額計)	4,263	4,337	△ 73
その他	14	13	0
純資産 合計	4,277	4,350	△ 73
負債・純資産 合計	8,853	9,021	△ 167

[円]

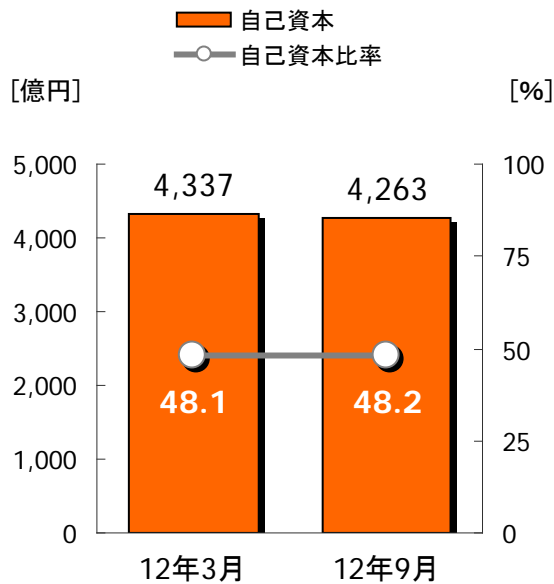
	12年9月	12年3月	増減
US\$	77.60	82.19	△ 4.59
Euro	100.24	109.80	△ 9.56

連結貸借対照表 主要指標



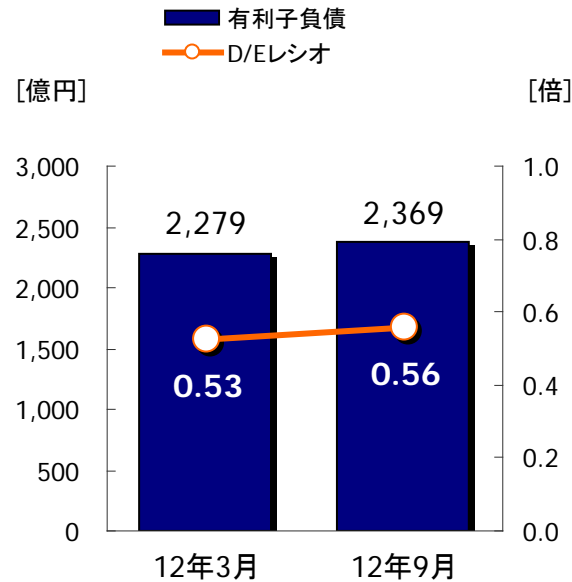
KONICA MINOLTA

● 自己資本比率



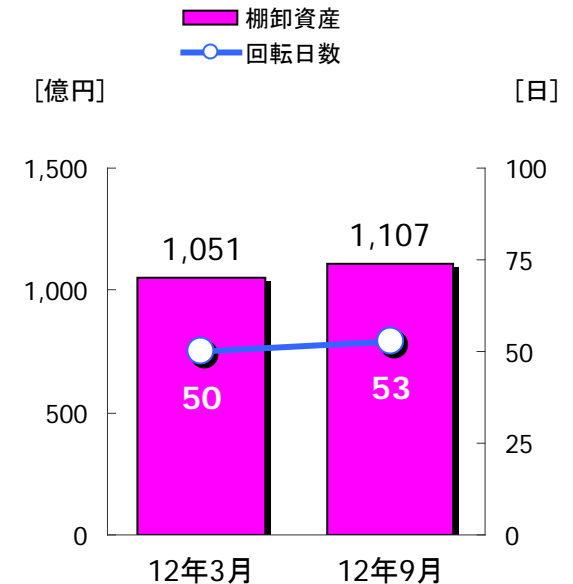
自己資本比率:
 $\text{自己資本} \div \text{期末総資産}$
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ:
 $\text{期末有利子負債} \div \text{自己資本}$
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



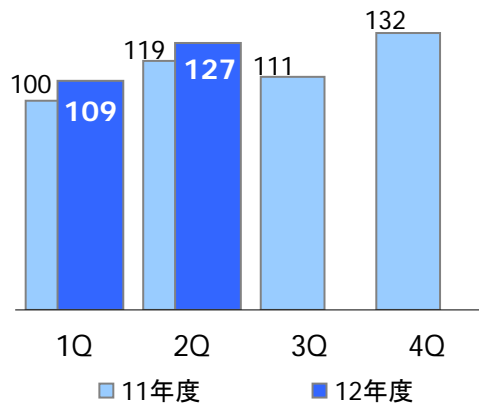
棚卸資産回転日数:
 $\text{期末棚卸資産} \div (\text{売上} / \text{日})$

情報機器事業 主要製品販売状況

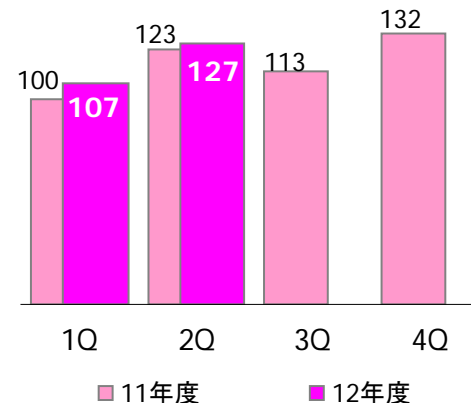


KONICA MINOLTA

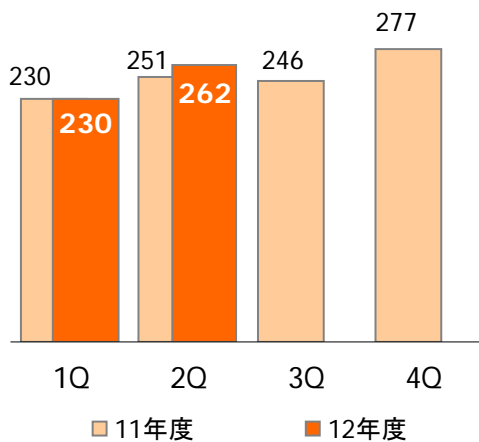
■ A3カラーMFP 販売台数*



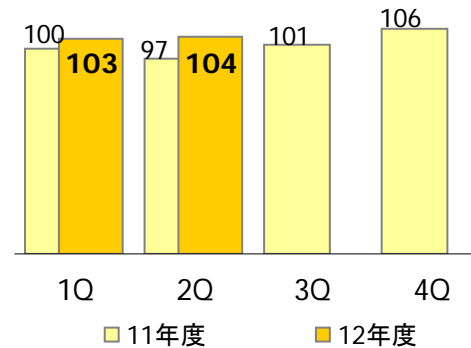
■ カラープロダクションプリント 販売台数*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



■ MFPノンハード売上* (為替影響排除後)

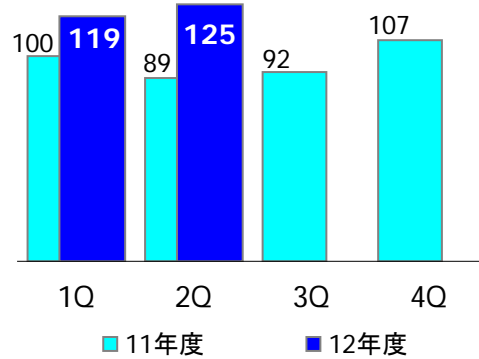


産業用材料・機器事業 主要製品販売状況

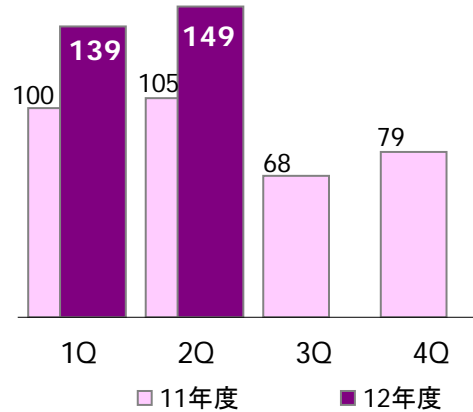


KONICA MINOLTA

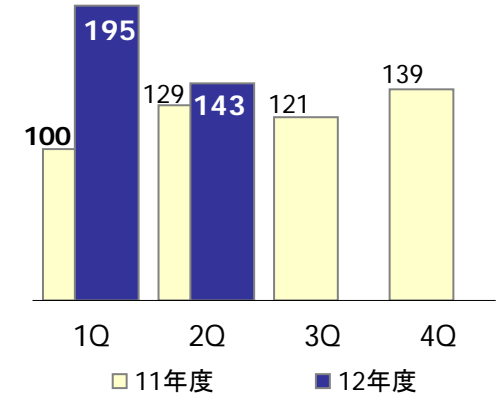
■ TACフィルム販売数量



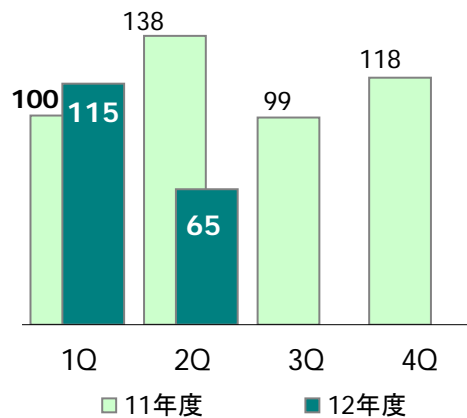
■ D-SLR用交換レンズ販売数量



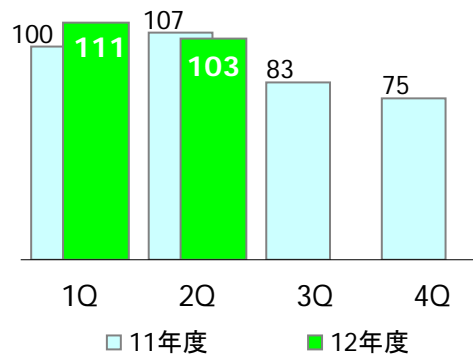
■ 色計測機販売数量



■ HDD用ガラス基板販売数量



■ ピックアップレンズ販売数量



■ カメラ付携帯用レンズ販売数量

